

## ■ ガラスのみ日射熱取得率とYKK AP製ガラス一覧

平成28年省エネルギー基準・木造

当一覧表は、国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内「平成28年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報（住宅）」に基づいています。

ガラスの仕様			ガラスのみ日射熱取得率 $\eta$ (枠の影響なし)			Y K K A P 製 ガラス
			付属部材 なし	和障子	外付け ブラインド※1	
三層 複層	2枚以上のガラス表面に Low-E膜を使用した Low-E三層複層ガラス	日射取得型	0.54	0.34	0.12	・APW430 / 431 ダブルLow-Eトリプルガラス ・APW330 / 331 真空トリプルガラス ・エピソードII 真空トリプルガラス
		日射遮蔽型	0.33	0.22	0.08	
	Low-E三層複層ガラス	日射取得型	0.59	0.37	0.14	・APW430 / 431 シングルLow-Eトリプルガラス
		日射遮蔽型	0.37	0.25	0.10	
	三層複層ガラス		0.72	0.38	0.18	-
(二層) 複層	Low-E 二層複層ガラス	日射取得型	0.64	0.38	0.15	・Low-E複層ガラス (断熱タイプ) ニュートラル
		日射遮蔽型	0.40	0.26	0.11	・Low-E複層ガラス (断熱タイプ) フルーフロンズ ・Low-E複層ガラス (遮熱タイプ) フルーフロンズ
	二層複層ガラス	0.79	0.38	0.17	・一般複層ガラス	
	単板ガラス2枚を組み合わせたもの注	0.79	0.38	0.17	・ダブルガラスルーバー窓	
単層	単板ガラス	0.88	0.38	0.19	-	

注：「単板ガラス2枚を組み合わせたもの」は、中間部にブラインドが設置されたものを含むものとする

※1：YKK AP製品では、多機能ルーバー（アルミルーバー）、X-BLINDが適合します

## 【ガラスの仕様について】

- 「Low-E複層」とは、2枚の板ガラスと1つの中空層からなるものであり、1枚以上の板ガラスにLow-E膜を中空層に面するように使用しているものをいう。低放射複層ガラスともいう。
- 「Low-E三層複層」とは、3枚の板ガラス（仕切り部材を含む。）と2つの中空層からなるものであり、1枚以上の板ガラスにLow-E膜を中空層に面するように使用しているものをいう（ただし、同一中空層に複数のLow-E膜が面するものを除く。）。低放射三層ガラスともいう。
- 「三層ガラス」とは、3枚の板ガラス（仕切り部材を含む。）により構成されるガラスであって、当該ガラスの間に2つの中空層を有するものである。トリプルガラスともいう。
- 「単板」とは、一枚の板ガラスにより構成されるガラスをいう。JIS R3202 に定めるフロート板ガラス及び磨き板ガラス、JIS R3203 に定める型板ガラス、JIS R3204 に定める網入板ガラス及び線入板ガラス、JIS R3206 に定める強化ガラス、JIS R3222 に定める倍強度ガラス、JIS R3208 に定める熱線吸収板ガラス、JIS R3221 に定める熱線反射ガラス及びJIS R3205 に定める合わせガラスをいい、それらの板ガラスに表面加工による光学的な拡散性を持たせたもの（刷りガラス、フロスト加工又はタペストリー加工）を含む。
- 「日射取得型」とは、JIS R 3106に定めるガラス中央部の日射熱取得率が0.50以上のものをいいます。
- 「日射遮蔽型」とは、JIS R 3106に定めるガラス中央部の日射熱取得率が0.49以下のものをいいます。

こちらの適合商品一覧は、一般社団法人 住宅性能評価・表示協会運営の「温熱・省エネ設備機器等ポータルサイト」に登録済みです。

上表中の商品は、構造・形状等での性能確認が可能であるため、上記ポータルサイトにおける性能確認区分はすべて「-」となります。